

プログラム⑦

どこにもここにも

ねらい

- 情報を発信するときに、発信する情報に責任をもつという意識づけをする。
- 日常生活の中で、意図せずに情報を発信してしまう危険性を知ることを通して、自分で自分を守る力を養う。
- 情報を発信するということは、誰もが他者に影響を与えることができるということに気づかせる。

実施時間	60分	対象学年	小学校5年生～中学生	実施人数	20～30人
------	-----	------	------------	------	--------

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 22分	1.講師あいさつを行う。	
	1) プログラム開始のあいさつや担当講師の自己紹介を行う。(2分) ①担当講師の自己紹介や、プログラムの概要の提示などを行い、参加者が緊張せずに楽しんで取り組めるよう働きかける。	皆さんこんにちは。私の名前は〇〇です。 普段は●●●●をしていますが、今日はこのプログラムの講師を担当します。よろしくお願いします。 今日のプログラムは教科書を使わずに、皆さんにはグループのメンバーで考えることを中心に進めていきます。普段の学校の授業とは少し違いますが、緊張せずにワークに取り組んでください。
	2.イラストリーディングを行い、私たちはたくさんの情報に囲まれて生活していることに気づかせる。	
	1) イラストから「情報」となるものがどれかを探させる。(20分) <div>準備物</div> <ul style="list-style-type: none">・A3イラストシート(黒板提示用)・A4イラストシート(グループ配付用)・ワークシート・付箋(1グループ 30枚程度)：7.5×2.5・情報チェックシート・マグネット(黒板用イラストシート貼り付け用) <div>ワーク</div> ①グループの進行役としてリーダーを1人決めさせる。	今日は皆さんといっしょに1枚のイラストを見ながら進めていきたいと思います。 まずはグループのリーダーを1人決め、ワークシートと付箋をグループのメンバーに配ってください。付箋は1人5枚程度、余った付箋はグループの中央に置いておいてください。リーダーはグループの中で行う、話し合いなどの進行役となります。 <div>イラスト・ワークシート・付箋を配付させる</div> 皆さんには、今からこのイラスト見て、情報を読み取ってもらいます。 このイラスト、実は、この3人が撮った記念写真です。中央に描かれている3人組に注目してください。3人の生徒には、名札やゼッケンがついています。そこからどんな情報を読み取ることができますか。(自由に発言させた後、2人ほどに発表させ、板書する) そうですね。この名札から3人の「名前」と「通っている学校」「学年」や「クラス」などの情報を読み取ることができますね。 このような情報が、この記念写真の中にはいくつか隠されています。同じ記念写真のイラストが、皆さんに配られているワークシートにあるので、まずは個人でできるだけたくさん、情報を読み取ってください。 読み取った情報は、配られている付箋に記入して、イラストの上に貼りましょう。付箋が足りなかったら、グループに配付されている付箋を使ってください。時間は2分です。 <div>個人で付箋に記入させる</div> では、個人で考えたことを、各グループに1枚配っているイラストシートの対応する箇所に、見つけた情報を書いた付箋を貼ってください。 貼れたら、個人で見つけた情報を3分でグループ内で発表してみましょう。
	②ワークシートにあるイラストに含まれる情報を読み取り、その情報を付箋に書き、ワークシートのイラストの対応する箇所に貼らせる。(3分) <div>【情報例】</div> <ul style="list-style-type: none">・場所(駅名、交差点名・歩道橋名などから)・季節(制服・デジタル時計・服装などから)・日時(デジタル時計から) など	
	③個人で見つけた情報をグループで共有させる。(5分)	

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
導入 22分 続き	④それぞれのグループにその場で立って、3つずつ見つけた情報を発表させ、全体で共有させる。 (8分)	<p>考えたことをグループで共有させる</p> <p>どうですか？ たくさん見つかりましたか？</p> <p>では、どんな情報を見つけたのか、各グループから3つずつ、発表してもらいます。</p> <p>グループのリーダーは記念写真のイラストシートを持ってその場で立ってください。</p> <p>発表するときには、例えば「女の子の名札から名前と学校名がわかります。」といったようにどこのなにからどんな情報が読み取れるのかを、わかりやすく説明してくださいね。 では、最初の人からお願いします。 (講師が指名して順に発表させる)</p> <p>(講師は発表させた情報をイラストの近くに板書していく)</p> <p>全てのグループに発表させる</p> <p>ありがとうございました。 リーダーの人座ってください。</p> <p>この記念写真から読み取ることのできる情報は、これですべてですか？私(講師)も気づいていない情報があるかもしれませんのでここに出ていない情報があれば、教えてください。</p> <p>全体に問いかけて挙手があれば発表させる</p> <p>実は皆さんが見つけてくれた以外にも、この写真には~~~という情報も隠れているのです。</p>
	⑤共有された内容以外で発見した情報がないかを全体に問いかける。 ⑥情報チェックシートを参考にしながら、参加者から出なかった情報を補足する。 ※参加者から発表されたものを情報チェックシートを活用してチェックしておく、その後スムーズに情報を提示することが可能。	
展開 36分	3.情報社会の中にある危険について考えさせる。	
	<p>1) 気軽にアップした写真によって起こりうる危険性について考えさせる。 (14分)</p> <p>ワーク</p> <p>①写真を不特定多数の相手に向けて発信してしまったことにより、どんなことが起こる可能性があるかを個人で考えさせ、ワークシートに記入させる。 (3分)</p> <p>②個人で考えたことをグループで共有させる。(5分)</p> <p>③グループで話し合った結果を全体で共有させる。 (6分)</p>	<p>ところで皆さんの中には、これまで自分が撮影した写真や動画をSNSや動画投稿サイトなど、インターネットを使って発信したことがある人はいますか？ (自由に発言させる)</p> <p>この3人も、仲良しを自慢したくてこの記念写真をブログにアップしたところ、困ったことが起きてしまいました。</p> <p>さて、困ったこととはどんなことでしょうか？ 3分で皆さんそれぞれで考えて、ワークシートの②「3人が仲良しだということを自慢したくて、この写真をブログにアップしたら困ったことが起きてしまいました。どんなことでしょうか」の欄に書いてみてください。</p> <p>個人で考えてワークシートに記入させる</p> <p>それでは3分たったので、今皆さんがそれぞれ考えた困ったことを、グループの中で発表し合ひましょう。 ほかの人の意見をワークシートにメモをしてもよいですね。 リーダーには後で、グループの人たちの考えを発表してもらいます。時間は5分です。</p> <p>考えたことをグループで共有させる</p> <p>どうですか？ 困ったこととはどんなことでしょうか。 それでは、リーダーはその場に立ってください。 自分の分も含めて、グループのメンバーが想像した、困ったことを発表してください。</p> <p>グループでの結果を発表させる</p>

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ(例)
展開 36分 続き	2) 不特定多数の人に「知らないうちに」情報を発信することは危険につながることを確認させる。 (2分)	<p>なるほど。 いろんなことが考えられますね。 思いもよらない困ったことも起こるかもしれないことがわかりました。</p> <p>ところで、たくさんの人が自由に見ることのできるSNSや動画投稿サイトで情報を発信する場合、発信者や映りこんでいる人の個人の情報（名前・所属・住んでいる場所）などがわからないように気をつけましょう、という注意を聞いたことがある人もいます。</p> <p>この記念写真に写っている情報は、仲良し3人組の情報だけではありませんでした。塾に入ろうとしている女の子たちが、この塾の塾生であることや、塾に通っている日時、また、お迎えの車については、ナンバーが映っていることから、この男の子の住んでいる場所の特定さえできてしまいます。</p> <p>他人の情報まで発信してしまうことにより、より複雑なトラブルの発生を招いてしまいます。</p> <p>気軽に投稿した1枚の写真が、たくさんの情報を発信してしまう結果となり、困ったことが起こってしまったのです。</p>
	4.情報を発信したいときにどのようにして伝えと危険を回避できるのかを具体的に考えさせることを通して、情報との付き合い方について考えさせる。	
	1)情報を発信するときに、工夫することや気をつけることについて考えさせる。 (15分)	<p>でも、ブログに写真をアップしたり、情報を発信したいときもありますよね。そんなとき、どのようなことに気をつけると、困ったことに巻き込まれずにすむのでしょうか。</p> <p>伝えたい情報を発信した結果、困ったことが起こってしまわないように、工夫することや気をつけることを考えてみましょう。</p> <p>まずはそれぞれ個人で考えて、ワークシートの③「伝えたい情報を発信するときに工夫することや気をつけることを考えよう」に書いてみましょう。 時間は3分です。</p> <p>個人で考えてワークシートに記入させる</p> <p>3分経ちました。 では次に、皆さんがそれぞれ考えてくれたことを、グループのメンバーに発表してください。たくさんの考えが出てくると思います。その中から3つ、これはぜひほかのグループの人に伝えたいと思うものを、グループで相談して決めてください。後でリーダーに発表してもらいます。今回時間は10分です。</p> <p>考えたことをグループで共有させる</p> <p>どうですか、意見はまとまりましたか。 それではリーダーは立ってください。</p> <p>ほかのグループに人にもぜひ伝えたい、という工夫することや気をつけることを3つずつ、発表してもらいます。 それでは、このグループからお願いします。</p> <p>グループでの結果を発表させる</p>
	①伝えたい情報を発信したいときに、困ったことが起こらないように工夫することや気をつけることを個人で考えさせ、ワークシートに記入させる。	

ワーク

①伝えたい情報を発信したいときに、困ったことが起こらないように工夫することや気をつけることを個人で考えさせ、ワークシートに記入させる。

②個人で考えたことをグループで共有させる。

③グループで話し合った結果を全体で共有させる。

時間	進行・ポイント等	トークシナリオ
展開 36分 の 続き	2) 今日のワークを通して気づいたことや 感じたことをグループで共有させる。(5分)	<p>確かに!! これは気をつけたいですね。 ～のようなことを工夫すると、困った結果を招かずに 多くの人が見てくれそうですね。 (コメント例: ……は、気をつけなければならないことですね。 ……を気をつけるのは重要なことですね。 ～な工夫ができるんですね。 ～な工夫をすると良いですね。)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>では、今日のワークをふりかえて、気づいたことや 感じたことを、グループで話し合ってみましょう。</p>
まとめ 2分	<p>5.常に情報との付き合い方を考えて生活をしていく必要があることを伝える。</p> <p>1) 私たちは情報に囲まれて生活しており、 情報と上手に付き合っていくためには、 自分がどんな情報をもっているのか、 自分の発信したい情報をどうやって発信するのか について、常に意識しておく必要があることを 伝える。</p>	

活動におけるワンポイントアドバイス

1 情報を扱うことへのマイナスのイメージを与えないようにしましょう。

- ・ワークでは、情報を扱う際の危険なポイントにだけ注目されてしまう危険性があります。情報を扱うことが危険なことなのではなく、扱い方を工夫することで、効果的な情報発信や、能率的な情報収集が可能であることを丁寧に伝えましょう。

2 情報の送受信のツールはインターネットだけではないことに留意しましょう。

- ・情報の受発信をするためのツールには、新聞や口コミなど、インターネットを介したツール以外にたくさんあります。参加者の理解を深めるためにも、情報の受発信のためのツールがインターネットに限定されないように心がけ、使用するツールは目的によって違うことも学べるように留意しましょう。

3 ヒントの与えすぎに注意しましょう。

- ・土曜学習では、参加者自らの気づきや発見をサポートします。情報を扱う学習を体験している参加者は少なくありませんが、ヒントを与えすぎたり、考えを1つの方向に導いてしまったりということのないよう配慮して、参加者が実生活で応用できる学びの場をつくりましょう。